平成 29 年度　公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会　考案賞入賞作品

努力賞　フォークリフトフロントアクスルハウジング端部保護キャップ

［新 潟 県 支 部］　　トヨタエルアンドエフ新潟株式会社　中条営業所
杉 本　知 己

【考案の動機】

フォークリフトのブレーキ分解整備時、フロントアクスルハウジングの端部がブレーキ中央部に突き出した状態になりますが、ハウジング端部には鋭利なネジ山が切られているため、全国の販売店でも手指の切り傷等の労働災害が発生し、当社でもヒヤリとする事が有ります。ハウジング端部にウエス等の巻き付けや軍手をはめたり、ナットを取り付けたりして災害防止を図っていましたが、見た目も悪く、ウエス等が邪魔になるために作業もやり難く、改善の必要性を感じていました。

【考案の内容】

廃棄品の 500cc のペットボトルを底面より 10cm 位でカットしキャップ状にする、カットした切り口での怪我防止とキャップが目立つように、カット部と中間にビニールテープを張り付け、アクスルハウジング部（ネジ山部分）にかぶせる、ピッタリとはまり脱落の心配は無い。見た目も良く、手指の傷付きやネジ山の損傷も防止できる。（1 t ～ 3 t のフォークリフトに使用できる様にした。）

【考案の効果】

非常に簡単に作製でき安価(0 円)。
見た目もきれいで、確実に災害の防止とネジ山損傷防止が図れる。
作業も大変し易くなり、繰り返しの使用が可能。
1t ～ 3 t のフォークリフトに使用でき、非常に好評。